



中島会長

県塗装工業会(中島康浩会長)は5~6日の2日間、木更津市で護岸の落書きを除去するボランティアでの社会貢献活動を今年も展開した。同工業会が構成員を務める県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)と、県木更津港湾事務所の協力も得て、護岸の壁に大胆に描かれた巨大な落書きを全員で除去し、来年

県塗装工業会

木更津市で落書き除去活動

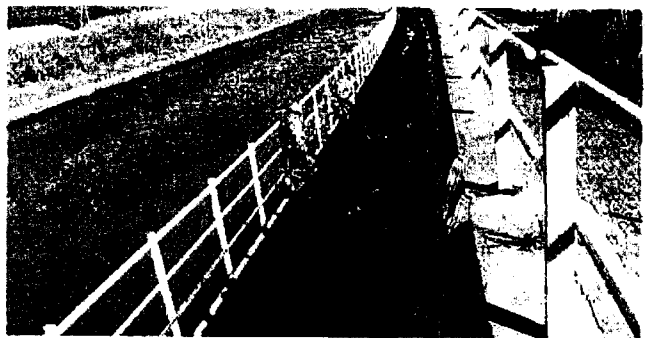
来年の壁画へ下地作り



作業前に汚れを高圧洗浄で除去

度以降に予定されている壁画作成の下地作りに励んだ。

当日、メンバーらは早朝から、作業現場となる木更津市潮見9丁目の水路沿いに集合。作業に先立ってあいさつした中島会長は、寒い中での協力をねぎらい、作業の趣旨を説明した上で、来年度



▲2日目は全員で下地調整



別動隊は現場周辺で道路の美化

以降に地元中学校などの生徒らにあらためて壁画を作成してもらう企画があるとし、活動の意義に理解を求めた。作業に当たってはまず、3台の高圧洗浄機を使つての洗浄作業からスタート。コンクリート表面にこびりついた泥などのほか、劣化してはがれかかっていた落書き片などを丁寧に洗い流した。一方で別のメンバーらは、水路沿いの約750mの区間を、ごみ袋を手に歩き、捨てられたたばこの吸い殻などを拾うなどし、道路の美化にも一役買っていた。

2日目は作業は続き、目張りをした上での下地材の塗布に全員でとりか

▼泉緑業▼伊藤仁塗装
▼彩▼上田塗装工業▼開成ペインテックス▼カムイ▼関東塗装工業▼久保塗装▼京葉塗装▼呉光塗装▼さくら塗建▼昭和塗

堤に描く壁画のアシストを、26~28年度の3カ年にわたって続けていた。さらに壁面の完成後は、数年ごとに保護材のクリアーを塗布するなどして保存を図る活動も展開しており、今年度も富津市の富津ジャンププールや印西市の北総花の丘公園で実施している。落書きは、単に消すだけではまた同じ場所が狙われるなど「イタチごっこ」となるため、子ども、特に中学生が描いた壁画の落書き防止効果が高いことが知られていることから、同工業会では生徒らの協力も得て、社会貢献活動を続けている。今回の活動に参加したメンバーは次の通り(順不同)。